

平成31年度 事業実施計画書（モデル的事業）

団体名：久々野まちづくり運営委員会

1. モデル的事業名	魅力情報発信事業
2. 事業名	魅力・お宝発信事業
3. 目的	<p>①情報発信事業 久々野に魅力を感じるファンを作り、久々野に住みたいと思う人を増やすため、特産品開発して商品化するなどコミュニティービジネスの創出および移住者を久々野へ誘う仕組みを構築する。</p> <p>[地域課題]・久々野の魅力を外部に発信する仕組みが乏しい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久々野地域の情報が得にくい</li> <li>・まちづくりの事業に若い人が興味を持たない</li> </ul> <p>②お宝マップ作成事業 身近な「まちの魅力」探しを行うことでまちの長所を伸ばすことで、住民が久々野に誇りと自信を持ち、子どもたちが将来久々野に残りたいと思える魅力あるまちづくりを行う。</p> <p>[地域課題]・都会へ憧れ、若い人が地元に残らない（都会への流出）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の魅力を感じていない</li> <li>・お宝（地域資源）の埋没</li> </ul>
4. 事業内容	<p>①情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久々野地域の若者（商工会青年部、農業青年生産者など）を主体とした情報発信から住民主体の情報発信増の仕組みへと構築していく。</li> <li>・久々野の歴史、文化、自然、特産などの情報発信の必要性、効果的方法などについてワークショップの開催。</li> <li>・多摩大学の指導者及び学生による情報発信の検証と手法のまとめ。</li> <li>・看板やアイテム充実による情報発信スポット（インスタ映えなど）の創出とSNS フォトコンテストの開催。</li> <li>・地元中学生と多摩大学がアクティブラーニングを展開し、お互いのスキルを高め、情報発信力を強化する。</li> </ul> <p>②お宝マップ作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の手順の見直し、検討。</li> <li>・専門家・講師を交えてのまとめ。</li> <li>・小中学校と連携したお宝探査ツアーの実施。</li> <li>・住民参加によるお宝のリストアップと活用等の検討。</li> </ul>
5. 効果見込	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信を行う仕組みを構築することで、より広範囲で多くの情報を発信できるようになる。</li> <li>・地域全体が自発的情報発信することで、魅力が地域で共有される。</li> <li>・地域資源を発掘し、郷土愛の醸成につながることで、次世代の地域担い手が増える。</li> <li>・若い人が、まちづくりに興味を抱き、まちづくりへの参画のきっかけとなる。</li> </ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・地域資源が貴重なお宝と気づくことで特産品化へすすむ。</li><li>・特産品などの情報が発信され、新たなコミュニティービジネスにつながる。</li><li>・地域に興味を持ち、来訪・移住される人が増える。</li></ul> |
|--|--|

平成 31 年度 事業スケジュール

①情報発信事業

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
年間	情報発信実施	委員が主導で自発的情報発信を行い、効果検証	委員会委員 18 名 (商工会青年部、農業青年生産者など)
7 月～10 月	ワークショップと実践	ワークショップにより、看板やアイテム充実による情報発信スポット(インスタ映えなど)の創出を検討	委員会委員
10 月中旬	視察・まとめ	教授・学生を久々野に招聘 委員が学生と久々野地域を視察 昨年から行ってきた発信事業の総括と今後の提言	大学 (教授・学生) 委員会委員
10 月中旬	計画	次年度の計画策定	委員会委員
11 月～3 月	ワークショップ	実践を踏まえた住民主体の情報発信増の仕組みを構築	委員会委員
12 月	発表	今回の取り組みをまとめて多摩大学アクティブラーニング発表会等で発表する。	実行委員および地元中学生
5 月～2 月	SNS フォトコンテスト	SNS のまち協ページを立ち上げフォロワーを対象にフォトコンテストを実施する。	事務局、委員会委員

②お宝マップ作成事業

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
4 月～9 月	宝のリストアップ作業	地域別、項目別	委員会委員 12 名 (観光協会、町内会、小・中学校など)
7 月～10 月	お宝探査ツアー事業準備	久々野町内のお宝探査ツアー事業の進め方を検討	委員会委員
10 月初旬	お宝探査ツアー事業	地元住民、小・中学生とお宝探査ツアーを行う	地区住民、小・中学生など
10 月中旬	計画	次年度の計画策定	委員会委員
11 月～3 月	まとめ	お宝マップ冊子作成に向けたまとめと活用の検討	委員会委員

平成31年度 久々野まちづくり運営委員会 収支予算書 (モデル的事業)  
魅力・お宝発信事業

【収入】

単位：円

区 分	予算額	内 訳
市補助金	1,000,000	協働のまちづくり支援金(モデル的事業)
合 計	1,000,000	

【支出】

単位：円

事業・科目	予算額	内 訳	
		支援金充当額	
情報発信事業	676,000	676,000	
人件費	108,000	108,000	委員報酬 (実行委員会)
旅費	180,000	180,000	多摩大学招聘 (教授・学生)
需用費	73,000	73,000	消耗品費、印刷製本費、燃料費
報償費	30,000	30,000	フォトコンテスト景品代
材料費	20,000	20,000	インスタスポット用
役務費	20,000	20,000	通信運搬費
使用料及び賃借料	245,000	245,000	バス借上料 (地域巡回用)
お宝マップ作成事業	324,000	324,000	
人件費	54,000	54,000	委員報酬 (実行委員会)
報償費	40,000	40,000	講師謝礼
旅費	10,000	10,000	講師旅費
需用費	10,000	10,000	消耗品費 (事務用品等)
役務費	10,000	10,000	通信運搬費
使用料及び賃借料	200,000	200,000	バス借上料 (地域巡回用)
合 計	1,000,000	1,000,000	